

山形蔵王（スノーハイク班）

王い 地ト温そ ケが座で13て震包 キ、計のガ付。歩いい
 蔵し らり氣、 ダ上鎮ら下い身を ッルのき。り苦だてて
 たら かモいき。と、がち点雪に身。レプ組じいわ八まいせ
 っ晴 駅才纏抱るナれ一こ氷吹さにいた。トッ人んし教苦、かか
 か素 原アををセブわタらはし寒アて一カ3か難を四はを覗
 たは 高る雪雪見は奪スち頂少いエっノい性輪構方てに汗け
 観れ 氷がのてを駅をンあ山れなウっス若女速結しし頃大だ
 はそ 樹の広山し姿原眼モ、。わのな賑きとき早が通りたに顔
 度、た。のに沢そ々氷に大れた覆したフで付名し。れのたっのら
 一き エ面にり様樹氷巨くにしラード3ら。ののたっのら
 で夕尽ウ一本凍はら霧ててが雲験カ一ガ我世し。こ紐っわいか
 眼スにプ駅のどれかのれえ上い経 キは 同 加、にか終な中
 のン言一頂ツ下そ麓バつ迎が厚。るス日！と 参 ださが付も雪
 こモ一口山マ低は山ンにて声、るすだ今グ々で 着下るくて。
 のの 蔵下のれ カるし歓度いいン我8装イけ漸いた



まであまりながら進む。これ、で青
 空だったら15分の高なのに...んか、思
 いな3人組の不良頂につさいカ
 女3人体調共るしイキのハ
 人の3名戻てガ付たのハ
 のまなで。がッ
 たん残
 残ッ
 プ
 待
 っ
 た
 不
 安
 輪



中風寒雪と5名の、中や止か？の思
 もとも声に
 き



や、右足で左足を踏んでコケる事
数回、油断は禁物である。寒さ対策
でカイロを手、足、腰用と準備したが
ゴーグルも凍る程の寒さにとても太刀
打ち出来ない。最初は怖かったが、45
度位の斜面の尻すべりは童心に返って
結構楽しかった。



とパニ
爽らト
颯が、
。なり
う見渡
まにを
し目ス
て横一
れをコ
にら出をたいと一
事かを空しし見ヤキ
な間顔青に美ず一ス
一合が。クの思わキス
キの空たツ氷、るダ
ツ雲青しバ樹事滑ラ



湯あき。じ。覚分きて、建て味を。林着。
 お。ん。自てえは為し意ナ到山、平遥雲日にそ
 た。返。か。イ。い。つ。終。木。い。を。と。ブ。に。兜。へ。形。り。は。朝。央、に。望。口。へ。キ
 き。きた。イ。い。つ。終。木。い。を。と。ブ。に。兜。へ。形。り。は。朝。央、に。望。口。へ。キ
 て。生。し。シ。な。立。け。の。多。話。ん。く。イ。に。兜。へ。形。り。は。朝。央、に。望。口。へ。キ
 し。外。力。来。が。付。ナ。が。う。や。輝。エ。鳥。台。山。が。に。た。中。峰、に。望。口。へ。キ
 意。き。度。才。出。腹。き。ブ。分。云。ち。ラ。ウ。で。望。に。広。手。れ、連。左。と。ろ。山。レ
 用。頂。一。か。・。か。か。が。水。と、キ。プ。り。展。下。が。右。隠。峰。妻。て。山。こ。で。ト
 で。を。何。・。う。き。ん。き。い。ど。ラ。ー。登。の。眼。野。か。に。連。吾。し。良。と。ラ。ー



太。た。ド。ノ
 達。し。ん。す
 安。能。ゴ。の。た。
 が。堪。ら。半。し。
 た。か。間。了。
 っ。い。駅。時。終。
 か。し。イ。4。事
 な。ら。エ。約。無
 え。晴。ウ、は
 見。素。プ。り、
 は。が。一。戻。ン
 は。が。一。戻。ン
 山、平遥雲日にそ



(記・渋谷 京子)
(写真提供・伊藤久雄)